

# 新製品 新技術紹介

## パワーチケット 特許・商標登録申請中 自動受付発券機 TW-304ne

佐橋 信治

ツインズコンピューター株式会社 代表取締役  
〒466-0059 名古屋市昭和区福江2-9-33 名古屋ビジネスインキュベーター白金4F  
TEL 052-884-3003 FAX 052-884-3004  
HP <http://www.twins-comp.com> E-mail [shin@twins-comp.com](mailto:shin@twins-comp.com)



により、このような不安要因を解消します。よく銀行などで見かける受付機をイメージして下されば結構です。来店者は自らタッチパネルを通じて対話式に、「人数」「禁煙/喫煙」「席のタイプ」を入力するのですが操作は至ってシンプルで説明は不要なほどです。

さて、客は機械より吐き出されたチケットを手にして所定の席で待つことになるのですが、弊社の調査ではこの待ち時間が平均で15~20分、そしてその間は殆どの方が何もしていないか、携帯電話をいじっております。私もはこのニュートラルな時間と空間に着目し、手元のチケットから様々なイベントを仕掛ける仕組みを考え出しました。これが「パワーチケット」なのです。

チケットヘラッキーナンバーを印字して、当選発表は携帯電話のサイトにて行い、当選した方はその場でお店からサービスの提供を受けられます。番号は双方とも毎日自動更新されるので、お店側は一切手間いらず、また店舗毎の当たり率の設定も随時可能です。これはほんの初歩的な使い方にすぎず、アイデア次第で「パワーチケット」の活かし方は無限大に拡がることでしょう。

さらに発券機の上には液晶TVを据え付けて、協賛会社（飲料メーカーなど）やお店の系列会社のCMなどを流しております。待ち時間は手持ち無沙汰で目線のやり場が少ないだけに注目度も高く浸透効果もあります。

現在、焼き肉チェーン、すしチェーン、ファミリーレストランなどで順次展開中です。

休日のファミリーレストランなどへ行くと大勢の家族連れやカップルで大変に賑わっております。そこへ足を運べば、店に入るなり直ぐに用紙に名前を書かされて、遠慮なく鳴り響くお腹と料理の臭いにくすぐられて湧き出してくる生唾を押さえながら、ウェイティングスペースで名前を呼ばれるのをただじっと待つ…。そんな経験はどなたでもおありかと思えます。

弊社はタッチパネルを使ったソリューション事業を主な業務としており、中でも飲食店向けのタッ

チパネル式セルフオーダーシステム「ちゅうナビ」は、国内でもいち早く販売実績をあげて、今日も各地で好評稼働中です。

そんな中、外食産業を間近で見えてきて、近年は店舗の大型化傾向に伴い1店舗あたりの集客数も大きく膨らみ、駐車場とウェイティングスペースの確保は今や必須となってきたと言えます。一方、客も待たされることが当たり前となり先述の通り入り口で紙に名前を書くはめになりました。

しかしこの、見ず知らずの大勢の中で名前を書いたり、呼ばれたり、はたまた携帯電話番号を告げたりする行為が、客側では抵抗感を感じている人も少なくありません。呼ばれるまでの間にしても、同姓の方が呼ばれて戸惑ったり、順番が来るまでの目安が立たず不安だったりしています。

そこで弊社製自動発券機により機械的に受付票を発行させること

〈受付整理券〉

